

# 第9回町議会定例会

## 美郷町一般会計補正予算 など20議案を可決

平成22年第9回町議会定例会が12月13日から16日までの4日間開会されました。  
今回の定例会では平成22年度美郷町一般会計補正予算第6号など20の議案について審議が行われ、いずれも原案どおり可決されました。

### 【行政報告】（一部抜粋および編集）

#### 公共施設再編および学校再編 空き施設等の活用方針案年内に答申

学校再編に伴う空き施設等の活用方針の検討については、平成22年5月に設置した住民検討委員会で、これまでに7回の会議や先進事例の視察を実施しており、活用方針案の年内の答申に向け順調に推移しております。（関連記事13ページ）

学校再編について、統合中学校関係では、校章を平成23年1月17日まで公募しており、町内の児童生徒をはじめ町民および町出身者から多くの作品の応募を期待しております。

また、制服や体育着については、統合後の制服を着用することとなる小学生の保護者も含めた制服検討委員会を設置し、

#### 遊休町有地の売り払いについて 計6件を売却

遊休町有地の売り払いを7月28日と9月29日に実施し、千畑地区2件、六郷地区3件、仙南地区1件の計6件を売り払い、総額は824万1,430円となっております。今後も引き続き、遊休地の売り払いを実施してまいります。

#### 農業施策関連 転作達成率は99.8%

12月1日現在の米の出荷状況は、町全体で昨年より2万5,902俵少ない、26万8,360俵にとどまるとともに、1等米比率は昨年より18.32ポイント下り79.18%で、米の概算金下落などを合わせると、減収試算額は9億600万円の見込みとなっております。

水田利活用自給力向上事業ならびに米戸別所得補償モデル事業に対する国からの交付金が11月12日に直接、各農家等に交付され、総額は10億3,300万円となっております。

また、町の激減緩和対策助成は11月19日に600万円余りを交付するとともに、県の緊急支援対策助成は12月10日、1,400万円余りが交付されております。

なお、今年度の生産数量目標面積393,877aに対し、主食用生産面積394,804.7aが作付けされ、転作達成率は99.8%となっております。

### 可決された案件

**美郷町議会議員の政治倫理に関する条例の制定について**  
美郷町議会議員の政治倫理の基本となる事項を定める条例が議員発議により提出され、可決されました。

**美郷町教育委員会委員の任命について**  
任期満了に伴い、現教育長の後松順之助氏（本堂東部）を再任しました。



後松 順之助 氏

**美郷町固定資産評価審査委員会委員の選任について(3件)**  
委員の任期満了に伴い、次の方々を新任ならびに再任しました。

新任 深田 秋彦氏（下畑屋）  
再任 小西 弘蔵氏（米町）  
再任 藤田 智氏（上野荒町）

**人権擁護委員の推薦について(2件)**  
委員の任期満了に伴い、次の方々を推薦しました。

中村しげ子氏（元本堂北部）  
吉水 是眞氏（東高方町）

**字の区域の変更について**  
**指定管理者の指定について(3件)**  
美郷町サンワーク六郷の指定管理者を社会福祉法人慈泉会に、指定期間を平成23年4月1日から平成28年3月31

日までとしました。また、美郷町アクティセクターおよび美郷町堆肥センターの指定管理者を株式会社美郷の大地に、指定期間を平成23年4月1日から平成26年3月31日までとしました。

**平成22年度美郷町一般会計補正予算第6号**  
ヒブワクチンおよび小児用肺炎球菌ワクチン接種の委託に要する経費（241万3千円）などを新たに追加するほか、インフルエンザ予防接種および子宮頸がんワクチン接種に要する経費（501万5千円）の増額など、歳入歳出それぞれ1億1,419万3千円を追加し、予算の総額を116億2,897万円としました。

**平成22年度美郷町国民健康保険特別会計補正予算第3号**  
**平成22年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算第4号**  
**平成22年度美郷町後期高齢者医療特別会計補正予算第2号**

次の5つの意見書が議員発議により提出され、全会一致で可決されました。

**大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める意見書の提出について**  
**雇用と生活をまもる施策強化を求める意見書の提出について**  
**高齢者の生活実態に見合った年金引き上げを求める意見書について**  
**後期高齢者医療制度の廃止に関する意見書の提出について**  
**最低保障年金制度の制定を求める意見書の提出について**

#### 保健衛生施策関連 子宮頸がん予防接種 接種率は90.6%

今シーズンの新型および季節性インフルエンザ予防接種について、全町民を対象とした助成事業を10月1日から実施しておりますが、10月末現在で約960人が接種を受け、うち13歳未満が189人、65歳以上が432人となっております。ワクチン接種から抗体が出来るまでには2週間程度かかることから、町では早めに予防接種を受けていただくよう引き続き周知してまいります。

日本脳炎予防接種については、本年7月から標準3歳に対する第1期接種を再開し、10月からは過去に接種の機会を逃した方々を対象に、接種を再開しております。第1期初回接種については10月末現在で、対象者89人のうち60人が接種しております。

子宮頸がん予防接種については、本年8月より実施し、10月末現在で対象者277人のうち251人（90.6%）が接種しており、うち175人については2回目の接種をするなど順調に推移しております。

なお、国の補正予算により平成22年度、23年度の2カ年の事業として、「子宮頸がん予防ワクチン」「ヒブワクチン」「小児用肺炎球菌ワクチン」の予防接種事業に2分の1を補助する国庫補助事業が創設されることとなりました。町としては「子宮頸がん予防

ワクチン」に加えて「ヒブワクチン」および「小児用肺炎球菌ワクチン」につきましても、医学的な見識などを踏まえつつ接種対象者の範囲、ワクチンの供給見込み、活用する国庫補助の内容など必要な情報の収集に努め、接種対象となる子どもへの保護者への周知などの準備を進め、国庫補助が開始された後、早期に対応できるよう、必要な費用を今定例会の補正予算に計上しております。



▲統合に向けて増築工事が進む現六郷中学校校舎